

建設常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

議案第110号 平成26年度岩国市一般会計補正予算（第4号）

議案第132号 平成26年度岩国市一般会計補正予算（第5号）

以上2議案のうち、当委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

議案第113号 平成26年度岩国市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第114号 平成26年度岩国市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

議案第115号 平成26年度岩国市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算
（第2号）

議案第119号 平成26年度岩国市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第120号 平成26年度岩国市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第121号 平成26年度岩国市工業用水道事業会計補正予算（第1号）

議案第122号 岩国市下水道事業の設置等に関する条例

議案第131号 市道路線の認定について

議案第135号 平成26年度岩国市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

議案第136号 平成26年度岩国市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算
（第3号）

議案第140号 平成26年度岩国市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）

議案第142号 山陽本線岩国構内三笠橋耐震補強^た他の工事委託に関する基本協定の
締結について

以上12議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について、御報告いたします。

議案第110号 平成26年度岩国市一般会計補正予算（第4号）のうち、当委員会所管分の審査におきまして、土木費の道路橋りょう費に関し、委員中から、楠町26号線改良事業費の減額及び事業完了に向けての考え方についての質疑があり、

当局より、「本事業は楠町の土手の道路までつなげる計画であったが、用地買収について地権者の理解が得られていない状況であり、今年度は公園までの道路整備を行う。本路線の重要性は認識しており、今後も早期完成に向けて、地権者との交渉等を引き続いて進めていきたい」との答弁がありました。

また、委員中から、工事を行うに当たって地元自治会等への案内の内容を統一することについての質疑があり、

当局より、「担当部署、職員が違っても、内容に差が出ないように、記載する必要事項等について統一的なマニュアルを作成するよう努めていきたい」との答弁がありました。

本議案のうち、当委員会所管分につきましては、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

次に、議案第131号 市道路線の認定についての審査におきまして、委員中から、事業の今後の進め方と一部区間完成後の暫定供用についての質疑があり、当局より、「今年度から用地買収をはじめるとの予定であるが、地元説明会での要望を受け、楠町、中津町の両側から用地買収を行い、用地買収完了後に工事に着手する予定としており、一部区間の暫定供用については、現時点では考えていない」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、事業用地内にある文化財についての質疑があり、当局より、「文化財保護担当部局とも調整を行っており、工事に着手するまでに、道路区域に含まれる部分について調査を行う予定である。調査結果をもとに再度調整を行うこととなるが、現時点では、本事業が川下のまちづくりに寄与する基幹事業であることから、記録保存等を行うことで調整を図っていきたい」との答弁がありました。

本議案は、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

次に、議案第142号 山陽本線岩国構内三笠橋耐震補強^た他の工事委託に関する基本協定の締結についての審査におきまして、委員中から、主な工事の内容と契約金額の算出根拠についての質疑があり、当局より、「三笠橋は架設から約55年を経過し、緊急輸送道路に指定されている路線でもあることから、耐震補強を進める中で、まずはJRとの跨線橋部分の耐震化を進めていくこととしている。契約金額については、工事の特殊性等もあり、市が積算することはできないが、一部の工事資材を市から提供することにより、費用の削減を図っている」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、工事への地元企業の参画や資材の市内調達が進むよう、また受注業者による現場管理についても徹底してほしいとの意見がありました。

本議案は、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。以上で、建設常任委員会の審査報告を終わります。